

アルブミン懸濁型パクリタキセル

(商品名: アブラキサン点滴静注用)

【起こる可能性のある副作用】

◎血管外漏出

- ・ 静脈に投与した薬が血管外に漏れ出てしまうことがあります。
- ・ 大きな傷となってしまう可能性がありますので、注射部位の周りを観察し、痛みや腫れ、赤みや熱感を感じた場合は速やかに職員に声をかけてください。

◎関節痛・筋肉痛

- ・ 治療後 2、3 日に出現しやすく、1 週間程度で改善することが多いとされています。

◎骨髄抑制

- ・ 白血球/好中球数減少(感染症にかかりやすい、発熱)、血小板減少(鼻血、あざができる、出血しやすい)、貧血(めまい、息切れ、疲れやすい)が起こることがあります。

◎脱毛

- ・ 治療開始 2～3 週間後から脱毛が始まる場合があります。
- ・ 多くの場合、治療終了後数か月経過すると再び毛が生え始めますが、毛質が変化することがあります。
- ・ 毛髪以外(眉毛、ひげ、体毛など)も脱毛は起こります。

◎末梢神経障害②

- ・ 手先・足先のしびれ感、痛み、感覚異常などの症状が現れることがあります。
- ・ 繰り返しの治療により症状が起こりやすくなる場合もあります。

◎黄斑浮腫

- ・ 視力が低下したり、ものがゆがんで見えたり(変視)、視野の中に見えない部分があるなどの症状が現れることがあります。
- ・ 放置しておくと重症となり、元に戻りにくくなるので、早めに対処することが大切です。

ここに挙げたものは主な副作用です。ここに挙げていないものも起こる可能性があります。ささいなことでも遠慮なく主治医・看護師・薬剤師に連絡をしてください。